

指標と目標

● ニコン環境長期ビジョンとニコン環境中期目標

マテリアリティ	ニコン環境長期ビジョン ターゲット年:2050年度	ありたい姿	ニコンとして取り組むこと	ニコン環境中期目標 ターゲット年:2030年度
マテリアリティ3 脱炭素化の推進	脱炭素社会の実現	2050年度までにバリューチェーン全体のネットゼロを実現	・生産設備、プロセスを改善し、脱炭素化を推進する	・Scope1 ^{*1} およびScope2 ^{*2} における温室効果ガス排出量を2022年度比で57%削減
			・エコオフィス化および多様なワークスタイルを推進し、脱炭素な働き方を実現する	
			・再生可能エネルギーの導入を加速する	・再生可能エネルギー導入率100%
			・製品ライフサイクルにおいて、各プロセスでの環境影響を可視化し、技術力を活かした環境に関する新しい取り組みを行う	・Scope3 ^{*3} における温室効果ガス排出量を2022年度比で25%削減
・貨物最小化、モーダルシフトなどを進め、極小エネルギー輸送体系を構築する				
・調達パートナーに対して、温室効果ガス削減目標の策定と実行を要請する				
マテリアリティ4 資源循環の推進	資源循環型社会の実現	バリューチェーン全体における資源消費の最小化と資源循環利用の最大化	・開発～製造プロセスの効率化により、廃棄物を削減する ・研磨材の使用量を最小化する	・すべての生産会社において下記ゼロエミッションレベル ^{*4} を達成 日本:レベルS 中国グループ生産会社:レベル1 その他の拠点:個別に設定したレベル ・廃棄物総排出量を2018年度比で10%以上削減
			・水の3R(使用量削減/有効利用/再利用)を推進する	・淡水消費量 ^{*5} を2018年度比で5%削減
マテリアリティ5 汚染防止と生態系への配慮	健康で安全な社会の実現	バリューチェーンにおける人の健康と生態系への負の影響ゼロ	・製品の企画段階から環境への影響を考慮し、製品ライフサイクル全体で3R ^{*6} を推進する	・製品の長寿命化、小型軽量化等による廃棄物削減 ・プラスチック包装材の使用量を2022年度比10%削減 ・製品、部品、材料およびそれらの包装材の再利用推進 ・製品に5%以上のリサイクル材使用 ・プラスチック包装材の10%以上を再生プラスチックもしくは植物由来プラスチックに変更
			・各国・各地域の法令・規制などを確実に遵守することはもとより、さらに厳しい自主基準に基づいた管理によって化学物質を適切に使用する	・製造プロセスにおける有害化学物質 ^{*7} 使用ゼロ ・製品の有害化学物質含有ゼロ ^{*8}
			・生態系の保全活動を実施する ・生態系への影響・依存性を定量的に把握し、最小化する	・海洋プラスチック汚染防止に貢献する周辺環境の保全活動継続 ・製品カタログ:電子データまたはFSC認証紙 100% ・取扱説明書・電子データまたはFSC認証紙・再生紙(古紙80%以上)100% ・梱装箱:FSC認証紙または再生紙 100%

*1 Scope1: 敷地内における燃料の使用などによる直接的な温室効果ガス排出のこと。

*2 Scope2: 購入した電気・熱の使用により発生する間接的な温室効果ガス排出のこと。

*3 Scope3: バリューチェーンにおける事業活動に関する間接的な温室効果ガス排出のこと(Scope1, 2を除く)。

*4 ゼロエミッションレベル: ゼロエミッションとは国連大学が1994年に提唱した、産業活動から排出される廃棄物などを、他の産業の資源として活用し、社会全体として廃棄物をゼロにするという考え方。ニコングループでは、ゼロエミッションの定義にレベル別指標を導入している。ゼロエミッションレベル1とは最終(埋立)処分率1%未満、レベルSとは最終(埋立)処分率0.5%のこと。

*5 淡水消費量: A～C 取水量の合計からD 戻り水量を差し引いた値(A+B+C-D)。

A: 地方自治体水道設備からの取水(水道水、工業用水など) B: 地表水からの取水(湖沼、河川) C: 地下水からの取水 D: 取水源と同等またはそれ以上の品質での戻り水(B,Cにのみ適用)

*6 3R: ここでは資源使用量または廃棄物のリデュース、製品や部品のリユース、リサイクルのこと。

*7 有害化学物質: ここでは自主基準である有害化学物質ガイドラインで定めた禁止物質を指す。

*8 含有ゼロ: ここでの「含有」とは法令で定められた閾値以上を示す。

● 環境アクションプラン2023年度実績 [概要]

自己評価 ○:達成 △:着手したが未達成

マテリアリティ		2023年度目標		実績	自己評価	該当ページ
脱炭素社会	マテリアリティ3 脱炭素化の推進	温室効果ガス削減	・Scope1およびScope2における温室効果ガス排出量を2013年度比で36.5%削減	・Scope1およびScope2における温室効果ガス排出量を2013年度比で66.9%削減	○	p.073
			・事業活動で使用する電力の25%以上を再生可能エネルギーにする	・事業で使用する電力の再生可能エネルギーの割合:69.3%	○	p.075
		製品の環境負荷低減	・LCA手法を活用した環境負荷低減 ・環境配慮製品創出 50%以上	・LCA算定対象機種種の拡大継続(新製品に対して100%実施) ・新製品の79%を環境配慮製品に認定	○	p.066, 074
		輸送における環境負荷低減	・物流における温室効果ガス排出量を前年同月期比2.7%削減	・物流における温室効果ガス排出量を前年同月期比16.1%削減	○	p.078
		調達/パートナーへの働きかけ	・重要な調達パートナーのCO ₂ 排出量把握(30社以上) ・調達パートナー向け講習会実施(年2回以上)	・重要な調達パートナーのCO ₂ 排出量把握(34社) ・調達パートナー向け講習会実施(年3回)	○	p.074
資源循環社会	マテリアリティ4 資源循環の推進	ゼロエミッション	・ニコンおよび国内グループ生産会社:レベルS維持 ・中国グループ生産会社:レベル1維持 ・海外グループ生産会社:国の事情に沿った取り組みの実施	・ニコンおよび国内グループ生産会社:最終埋立処分率0.09%レベルS維持 ・中国グループ生産会社:最終埋立処分率0.6%レベル1維持 ・海外グループ生産会社:各国の法令に基づき処理	○	p.085
		廃棄物削減	・操業に関わる廃棄物総排出量を2018年度比で3%以上削減(廃棄物総排出量:7,538トン以下)	・操業に関わる廃棄物総排出量を2018年度比で20%削減	○	p.085
		水の適正使用と有効利用の推進	・淡水消費量を2018年度比で2%削減(2018年度淡水消費量:1,877千m ³)	・淡水消費量を2018年度比で3.4%削減	○	p.087
		リデュース・リユース・リサイクルの推進	1)リデュース ・製品および包装材の環境負荷低減(製品の小型化、長寿命化等)	・一部の映像製品や顕微鏡の発泡プラスチック緩衝材を削減(プラスチックから紙へ変更)	○	p.083
			2)リユース ・製品、部品、材料、包装材の再利用促進	・FPD露光装置のガラス部品を再生し、中国でのサービス提供開始 ・半導体露光装置の中古品販売継続	○	p.081
3)リサイクル ・製品へのリサイクル材の使用促進	・映像製品の一部にリサイクル材採用		○	p.082		
健康で安全な社会	マテリアリティ5 汚染防止と生態系への配慮	有害化学物質の削減等	・有害化学物質ガイドラインに基づく禁止ランク物質廃止に向けた施策を決定し、順次実施する	・ニコン熊谷製作所にジクロロメタン除害設備導入 ・洗浄用HFCを代替物質に変更 ・EU REACH規則のPFAS規制に向けた全社プロジェクト発足、対象物質の洗い出しおよび代替を開始	○	p.095
			・各国の有害化学物質法規制の遵守 ・製品含有化学物質管理体制強化	・一部の双眼鏡(プロフェッショナルシリーズ)のボディ表面に貼付している人工皮革においてREACH規則制限物質が含有 ・社内の製品含有化学物質管理体制強化実施	△	p.093
		生物多様性の保全活動	・海洋プラスチック汚染防止活動を考慮した地域貢献活動を各拠点年1回以上実施	・海洋プラスチック汚染防止活動を考慮した地域貢献活動:各拠点年1回以上、合計で31件実施	○	p.101
			・ニコンのロゴマークが印刷されている紙において、ペーパーレス化またはFSC認証紙化を推進	・製品カタログ、取扱説明書の電子化実施 ・新規発注分の製品カタログについては、国内、北米、欧州にて特殊紙を除き、約85%がFSC認証紙対応	○	p.100

● 環境アクションプラン2024年度目標 [概要]

マテリアリティ		2024年度目標	
脱炭素社会	マテリアリティ3 脱炭素化の推進	温室効果ガス削減	<ul style="list-style-type: none"> ・Scope1およびScope2における温室効果ガス排出量を2022年度比で50%削減する ・事業活動で使用する電力の69%以上を再生可能エネルギーにする
		製品の環境負荷低減	<ul style="list-style-type: none"> ・LCA手法を活用した環境負荷低減 ・環境配慮製品創出50%以上
		輸送における環境負荷低減	<ul style="list-style-type: none"> ・物流における温室効果ガス排出量を、前年同月比2.7%削減
		調達パートナーへの働きかけ	<ul style="list-style-type: none"> ・重要な調達パートナーのCO₂排出量把握(70社以上)
資源循環社会	マテリアリティ4 資源循環の推進	ゼロエミッション	<ul style="list-style-type: none"> ・ニコンおよび国内グループ生産会社：レベル5維持 ・中国グループ生産会社：レベル1維持 ・海外グループ生産会社：国の事情に沿った取り組みの実施
		廃棄物削減	<ul style="list-style-type: none"> ・操業に関わる廃棄物総排出量を2018年度比で4%以上削減(廃棄物総排出量：7,460トン以下)
		水の適正使用と有効利用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・淡水消費量を2018年度比で2%削減(2018年度淡水消費量：1,877千m³)
		リデュース・リユース・リサイクルの推進	<ol style="list-style-type: none"> 1) リデュース <ul style="list-style-type: none"> ・製品および包装材の環境負荷低減(製品の小型化、長寿命化等) 2) リユース <ul style="list-style-type: none"> ・製品、部品、材料、包装材の再利用促進 3) リサイクル <ul style="list-style-type: none"> ・製品へのリサイクル材の使用促進
健康で安全な社会	マテリアリティ5 汚染防止と生態系への配慮	有害化学物質の削減等	<ul style="list-style-type: none"> ・有害化学物質ガイドラインに基づく禁止ランク物質廃止に向けた施策を決定し、順次実施する ・各国の有害化学物質法規制の遵守 ・製品含有化学物質管理体制強化
		生物多様性の保全活動	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋プラスチック汚染防止などの生物多様性保全に貢献する活動を各拠点年1回以上実施 ・ニコンのロゴマークが印刷されている紙において、ペーパーレス化またはFSC認証紙化を推進